



10月31日開幕

音が再び街をつなぐ

昨年、多くの県民に感動をよんだ「青い海と森の音楽祭」がスケールアップして帰ってくる。今秋10月31日開幕、11月8日のオーケストラコンサートでフィナーレを迎える全9日間の日程で、今年もアウトリーチ（出前演奏会）で県内各地を巡る。芸術総監督の指揮者・沖澤のどかさん（青森出身）、音楽主幹のソプラノ歌手・隠岐彩夏さん（五所川原出身）が、昨年にも増して県民にクラシック音楽の楽しさを伝えようと張り切っている。



大成功に終わった2025年の「青い海と森の音楽祭」

青い海と森の音楽祭のオーケストラコンサートで指揮する沖澤のどかさん



勢いそのまま盛り上げたい 沖澤のどかさん

昨年の「青い海と森の音楽祭」では、予想以上の深い繋がりができたと感じています。基本的には第1回の内容をそのままだとしますが、期間が2日増え計9日間の開催となります。

第2回に限らず、今後とも継続的に続けていきたいと考えています。

「青い海と森の音楽祭」の最大の特徴は、演奏家たちが県内各地の学校や介護・福祉施設、公共施設などに出向いて交流するアウトリーチ（出前演奏会）だ。昨年1週間の音楽祭期間中、6カ所で生演奏を披露した。目と鼻の先で演奏を身近に感じたり演奏家と会話をしたり、日頃コン

「青い海と森の音楽祭」の最大の特徴は、演奏家たちが県内各地の学校や介護・福祉施設、公共施設などに出向いて交流するアウトリーチ（出前演奏会）だ。昨年1週間の音楽祭期間中、6カ所で生演奏を披露した。目と鼻の先で演奏を身近に感じたり演奏家と会話をしたり、日頃コン

アウトリーチ 今年も公募も

「青い海と森の音楽祭」の最大の特徴は、演奏家たちが県内各地の学校や介護・福祉施設、公共施設などに出向いて交流するアウトリーチ（出前演奏会）だ。昨年1週間の音楽祭期間中、6カ所で生演奏を披露した。目と鼻の先で演奏を身近に感じたり演奏家と会話をしたり、日頃コン

「青い海と森の音楽祭」の最大の特徴は、演奏家たちが県内各地の学校や介護・福祉施設、公共施設などに出向いて交流するアウトリーチ（出前演奏会）だ。昨年1週間の音楽祭期間中、6カ所で生演奏を披露した。目と鼻の先で演奏を身近に感じたり演奏家と会話をしたり、日頃コン



このほか、3〜5日は青森市の東奥日報新町ビルなどでも各種公演、6日は弘前市民会館、7、8日はリンクステーションホール青森でオーケストラコンサートなどを行う。

みんなで100歳まで育てたい 隠岐彩夏さん



青い海と森の音楽祭のオーケストラコンサートで歌声を披露する隠岐彩夏さん

新年おめでとうございませう。2025年はどんな1年でしたでしょうか。

昨年夏、第1回「青い海と森の音楽祭」が開催されました。たくさんの方々の熱い思いと力が結集し、ついに実現できました。

あの日いただいた応援、差し伸べていただいた手、あたにかい言葉の全てが私たちの力となり、音楽となって会場を満たしました。期間中に会えた満面の笑みや、確かに心が通じ合った瞬間の喜びは、今も忘れることができます。

受け取った感動や学びを次の誰かへ手渡していく。文化・芸術の持つ「恩送り」の力が世代や地域を超え、希望ある未来をつくることを信じています。

産声をあげたばかりの音楽祭ですが、みんなの手で100歳くらいまで育てていけたら願っています！特に、子どもたちが音楽やもののじけりに触れ、未来を想像するきっかけとなればうれしいです。

今回は紅葉の美しい秋の開催です。街で、会場で、お会いできることを心から楽しみにしています。

マルチアングル動画公開

視聴者が主役となる新しい映像配信サービス「yourLIVE」。従来は複数のカメラ映像の中から制作側が画像を選び、視聴者に届けていたが「yourLIVE」は、全てのカメラ映像を視聴者に提供する。視聴者自身が見たい映像を自由に選択し、同じ被写体でも異なるアングルから視聴することができる。

JVCケンウッド（横浜市）が昨年、音楽映像配信分野で実績のある「インターネットイニシアティブ（III）」の協力で、同社の動画

配信プラットフォーム「III Media Sphere サービス」を活用し、「青い海と森の音楽祭」のアウトリーチ（出前演奏会）と、リンクステーションホール青森で行われた「0歳からのファミリーコンサート」をマルチアングル撮影した。行く先々で大歓迎を受けたアウトリーチの様子、演奏者と観客が一体となったフレンドリーなコンサート会場の盛り上がり、臨場感を味わいながら楽しめる。

動画は1月1日から音楽祭公式ホームページで特別公開される。アドレスは<https://aomimori.jp/>



「青い海と森の音楽祭」公式ホームページで公開しているマルチアングル動画の画面

東奥日報社などで行く実行委員会は「青い海と森の音楽祭」の盛り上げを応援する個人サポーターを今年も募集する。受付開始は今春の予定。

前回は音楽祭チケット販売の先行案内、オリジナルグッズの進呈、特別イベントへの優先招待など各種特典をもうけ、300人が登録した。今年も各種特典をつけるとともに、音楽を愛する音楽祭を後方支援してくれるサポーターを募る。

問い合わせは東奥日報社事業局企画事業部（電話017・718・1135）へ。